

3月避難訓練 実施案

堀船小学校 生活指導部

- 1 **ねらい**
地震避難の基本的行動を身に付ける。
- 2 **日時**
令和7年3月●日（●） 日時予告なし（教職員も）
（資料用注釈） 13：20～13：50（掃除中）に実施します
- 3 **準備物（担当）**
放送（副校長） 児童数確認表（副校長） 出席簿（担任）
緊急地震速報（生活指導主任）
- 4 **避難経路の制限**
制限なし。一番近い階段を使用する。
- 5 **校内巡視の担当**
1階…事務 2階…主事 3階…主事 4階…主事
- 6 **訓練の実際**
 - ① 緊急放送が入る。
 - ② 職員、児童は私語をやめ、指示命令を聞き、おかしもの約束を守り、速やかに避難行動をとる。
 - ③ 各教室に集合し、人員確認を行う。（けが人発生→担架で救助）
 - ④ 学校長の話

【想定】

- ・掃除中の地震発生
※緊急地震速報・余震あり
- ・予告なし（教職員も）
- ・**けが人発生→担架で救助**
- 【避難場所】** 教室（放送）

	時間の推移		・児童の動き	○教職員の動き
事前 指導			・3月の安全指導で、地震の避難の仕方を確認する。	※今回の避難訓練は実施日・実施時間ともに予告しない。
避難 訓練	【事案発生】  緊急地震速報、地震の効果音 「訓練。訓練。地震です。揺れが収まるまで、物が落ちてこない、倒れてこない場所に身を寄せて、手で頭をおおって座ります。」 （少しの時間の後） 「揺れが収まりましたので、教室で人員確認をします。防災頭巾が近くにあれば、防災頭巾をかぶります。「おかしもの約束を守り、安全に気を付けながら教室に入りましょう。避難開始。」 【担任が人員確認→校内巡視の教職員に報告→校内巡視の教職員が本部に報告】		・伝達内容を聞き、状況を把握するとともに、これからどのように、避難するかを知る。 ・教職員の指示に従い、安全確認が終わるまで、教室で待機する。	○児童に指示をし、安全な避難行動をさせる。 ○担任は人員を確認し、校内巡視の教職員に報告し、教室で待機する。 ○校内巡視の教職員は、担当の階のクラスの人員を担当から報告を受け、本部（副校長）に報告をする。
3階～4階踊り場でけが人発生！→保健室まで担架で運ぶ！ ※複数の教員で対応（けが人は体格が大きい児童を想定）				
	【余震発生】 【救助完了】 【学校長の話】		・放送を聞き、教室で待機 ・教室で避難行動を取る。 ・講話を聞く。	・救助方法について、校長から教職員に指示を出す。 救助対応：担架でけがをした児童を保健室まで運ぶ。 児童管理：児童管理（学年で子供たちを見る）
事後 指導			・今日の訓練を振り返る。	○自助の大切さを伝える。